

『延長産業連関表からみた我が国経済構造の概要』 説明資料

(平成27年延長産業連関表)

平成30年9月4日

経済産業省大臣官房
調査統計グループ 調査分析支援室

我が国経済構造の概要【主要項目の推移】

平成27年の主要項目の推移を実質表(23年固定価格評価、以下同様)で見ると、総供給額(総需要額)は対23年比で3.7%、対26年比で1.6%の増加。

	平成23年 基本表 (兆円)	平成26年 延長表 (兆円)	平成27年 延長表 (兆円)	平成27年 ／23年 伸び率(%)	平成27年 ／26年 伸び率(%)	構成比(%)			
						平成23年	平成26年	平成27年	
実 質 表	国内生産額	916.7	928.7	945.7	3.2	1.8	91.7	91.1	91.2
	中間投入額	453.8	461.2	469.6	3.5	1.8	(49.5)	(49.7)	(49.7)
	＝中間需要額						45.4	45.2	45.3
	粗付加価値額	462.9	467.5	476.1	2.9	1.9	(50.5)	(50.3)	(50.3)
	最終需要額計	546.0	558.6	567.0	3.8	1.5	54.6	54.8	54.7
	国内最終需要	473.5	482.6	490.2	3.5	1.6	47.4	47.3	47.3
	消費	381.2	377.9	386.7	1.5	2.3	38.1	37.1	37.3
	投資	92.4	104.8	103.5	12.1	▲ 1.2	9.2	10.3	10.0
	輸出	72.5	76.0	76.8	5.9	1.1	7.3	7.4	7.4
	輸入	83.2	91.1	90.9	9.3	▲ 0.3	8.3	8.9	8.8
	総供給額＝総需要額	999.9	1,019.8	1,036.6	3.7	1.6	100.0	100.0	100.0

注) 1. 四捨五入の関係により、合計と内訳の合計が一致しない場合がある(以下、同様)。

2. 表中の括弧内は国内生産額に対する構成比

我が国経済構造の概要【生産構造①】

平成27年の国内生産額は、対23年比では財、サービスとも増加に寄与し3.2%の増加。
対26年比でも財、サービスとも増加に寄与し1.8%の増加。

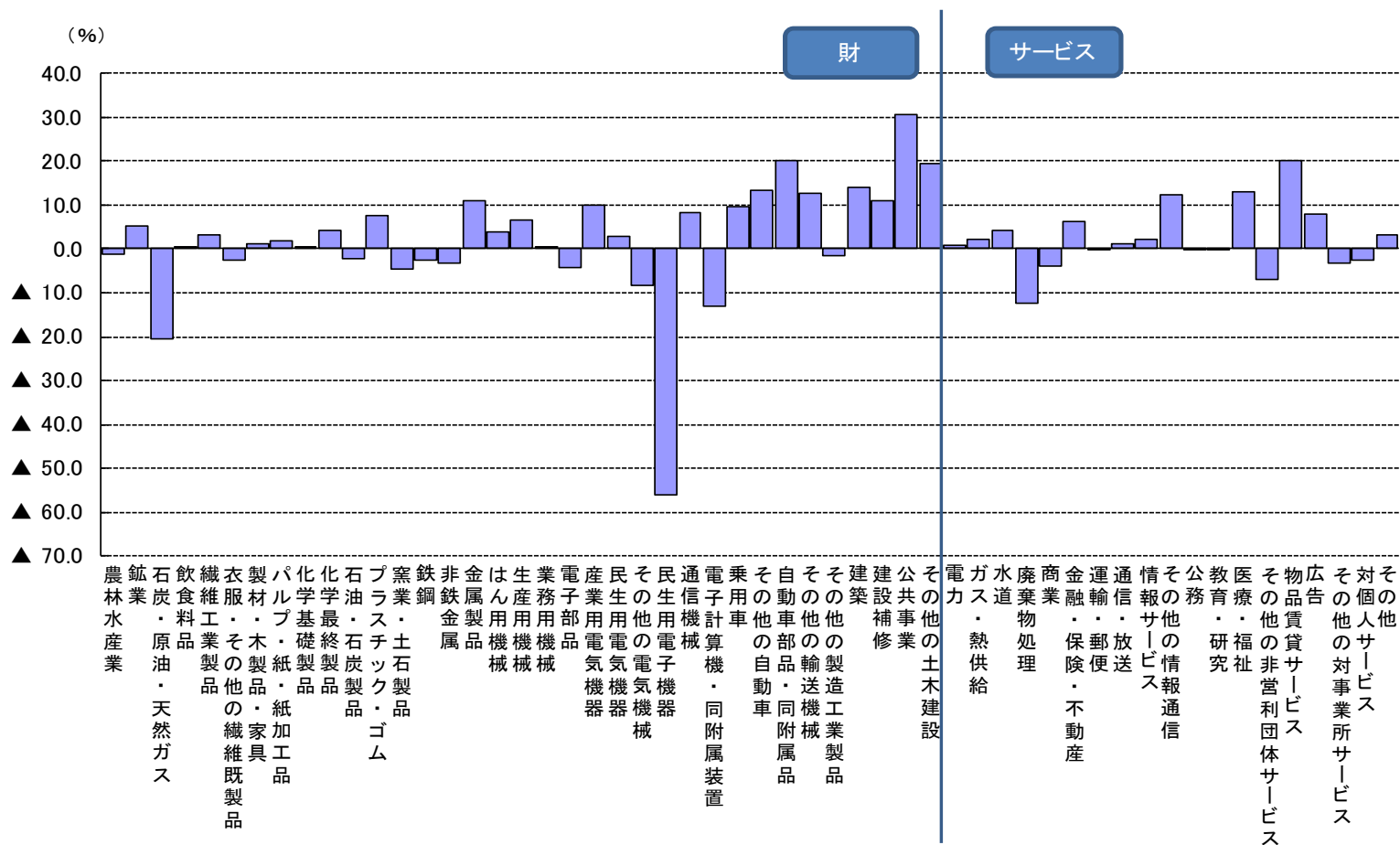
	国内生産額(兆円)			平成27年 ／23年	平成27年 ／26年	構成比(%)		
	平成23年	平成26年	平成27年	伸び率(%)	伸び率(%)	平成23年	平成26年	平成27年
合計	916.7	928.7	945.7	3.2	1.8	100.0	100.0	100.0
財	353.9	363.2	371.5	5.0	2.3	38.6	39.1	39.3
一次産品	12.8	12.9	12.6	▲ 1.3	▲ 1.8	1.4	1.4	1.3
製造工業製品	288.6	289.1	296.9	2.9	2.7	31.5	31.1	31.4
素材型	112.2	110.4	112.8	0.6	2.2	12.2	11.9	11.9
加工組立型	112.1	115.5	119.2	6.3	3.2	12.2	12.4	12.6
その他の製品	64.2	63.3	64.9	1.0	2.5	7.0	6.8	6.9
建設	52.5	61.2	61.9	17.9	1.2	5.7	6.6	6.5
サービス	562.8	565.5	574.3	2.0	1.6	61.4	60.9	60.7
商業	93.7	96.9	89.9	▲ 4.0	▲ 7.2	10.2	10.4	9.5
金融・不動産	103.3	109.8	109.8	6.3	▲ 0.0	11.3	11.8	11.6
運輸・情報通信	85.5	80.9	87.0	1.9	7.6	9.3	8.7	9.2
公共サービス	150.0	148.4	157.7	5.1	6.3	16.4	16.0	16.7
その他のサービス	130.4	129.5	129.8	▲ 0.5	0.2	14.2	13.9	13.7

注:実質表から作成。

我が国経済構造の概要【生産構造②】

平成27年の国内生産額(対23年比)を産業別にみると、財では公共事業、自動車部品・同付属品等が、サービスでは物品賃貸サービス、医療・福祉等が増加。一方、民生用電子機器は大きく減少。

平成27年国内生産額の部門別伸び率(対23年伸び率)



注:実質表から作成。

我が国経済構造の概要【中間投入率】

平成27年の中間投入率を対23年差、対26年差でみると、「財」が上昇する一方、「サービス」は低下しており、合計(全産業)ではほぼ横ばい。

産業別にみると、加工組立型で「財」の中間投入率が上昇、「サービス」が低下。

			合計(全産業)													
			『財』に区分される産業								『サービス』に区分される産業					
			一次 産品	製造工業製品			建設	商業	金融・ 不動産	運輸・ 情報通信	公共 サービス	その他の サービス				
				素材型	加工 組立型	その 他の 製品										
中間 投入 率 (%)	平成23年	計	49.5	68.2	51.7	71.4	74.5	72.3	64.4	54.8	37.7	31.5	24.0	43.2	43.6	42.7
		「財」	25.8	49.1	35.0	53.4	59.8	53.8	41.5	28.9	11.2	5.2	4.4	8.2	17.9	15.2
		「サービス」	23.7	19.1	16.7	18.0	14.6	18.6	22.9	25.9	26.5	26.4	19.6	35.0	25.6	27.6
	平成26年	計	49.7	68.2	51.1	72.3	73.2	75.1	65.8	52.1	37.8	29.5	23.9	43.7	46.5	42.0
		「財」	25.9	48.5	34.9	53.7	57.9	56.3	41.5	27.0	11.4	4.7	4.2	8.2	19.9	14.7
		「サービス」	23.8	19.7	16.2	18.7	15.3	18.8	24.2	25.1	26.4	24.9	19.8	35.5	26.5	27.4
	23年差	計	0.2	▲ 0.0	▲ 0.6	0.9	▲ 1.3	2.8	1.4	▲ 2.7	0.0	▲ 2.0	▲ 0.1	0.4	2.9	▲ 0.7
		「財」	0.1	▲ 0.6	▲ 0.1	0.3	▲ 2.0	2.5	0.1	▲ 2.0	0.2	▲ 0.5	▲ 0.2	▲ 0.0	2.0	▲ 0.5
		「サービス」	0.1	0.6	▲ 0.4	0.7	0.7	0.3	1.3	▲ 0.8	▲ 0.1	▲ 1.5	0.1	0.5	0.9	▲ 0.2
	平成27年	計	49.7	67.7	53.2	71.9	73.2	74.9	63.8	50.8	38.0	32.3	24.1	44.5	44.6	41.3
		「財」	26.3	49.1	36.0	54.2	58.8	57.0	41.1	27.2	11.6	5.1	4.4	8.1	19.4	15.0
		「サービス」	23.3	18.6	17.2	17.6	14.5	17.9	22.7	23.6	26.4	27.2	19.7	36.4	25.2	26.3
	23年差	計	0.1	▲ 0.5	1.5	0.5	▲ 1.2	2.6	▲ 0.6	▲ 4.1	0.2	0.8	0.1	1.3	1.0	▲ 1.5
		「財」	0.5	0.0	0.9	0.8	▲ 1.1	3.3	▲ 0.4	▲ 1.7	0.4	▲ 0.1	0.0	▲ 0.1	1.5	▲ 0.2
「サービス」		▲ 0.3	▲ 0.5	0.5	▲ 0.4	▲ 0.2	▲ 0.7	▲ 0.2	▲ 2.4	▲ 0.1	0.8	0.0	1.4	▲ 0.5	▲ 1.3	
26年差	計	▲ 0.0	▲ 0.5	2.0	▲ 0.5	0.1	▲ 0.2	▲ 1.9	▲ 1.4	0.2	2.8	0.1	0.9	▲ 1.9	▲ 0.8	
	「財」	0.4	0.6	1.1	0.6	0.9	0.8	▲ 0.4	0.2	0.2	0.4	0.2	▲ 0.1	▲ 0.5	0.3	
	「サービス」	▲ 0.4	▲ 1.1	0.9	▲ 1.1	▲ 0.9	▲ 1.0	▲ 1.5	▲ 1.6	0.0	2.4	▲ 0.1	1.0	▲ 1.4	▲ 1.0	

注:実質表から作成。

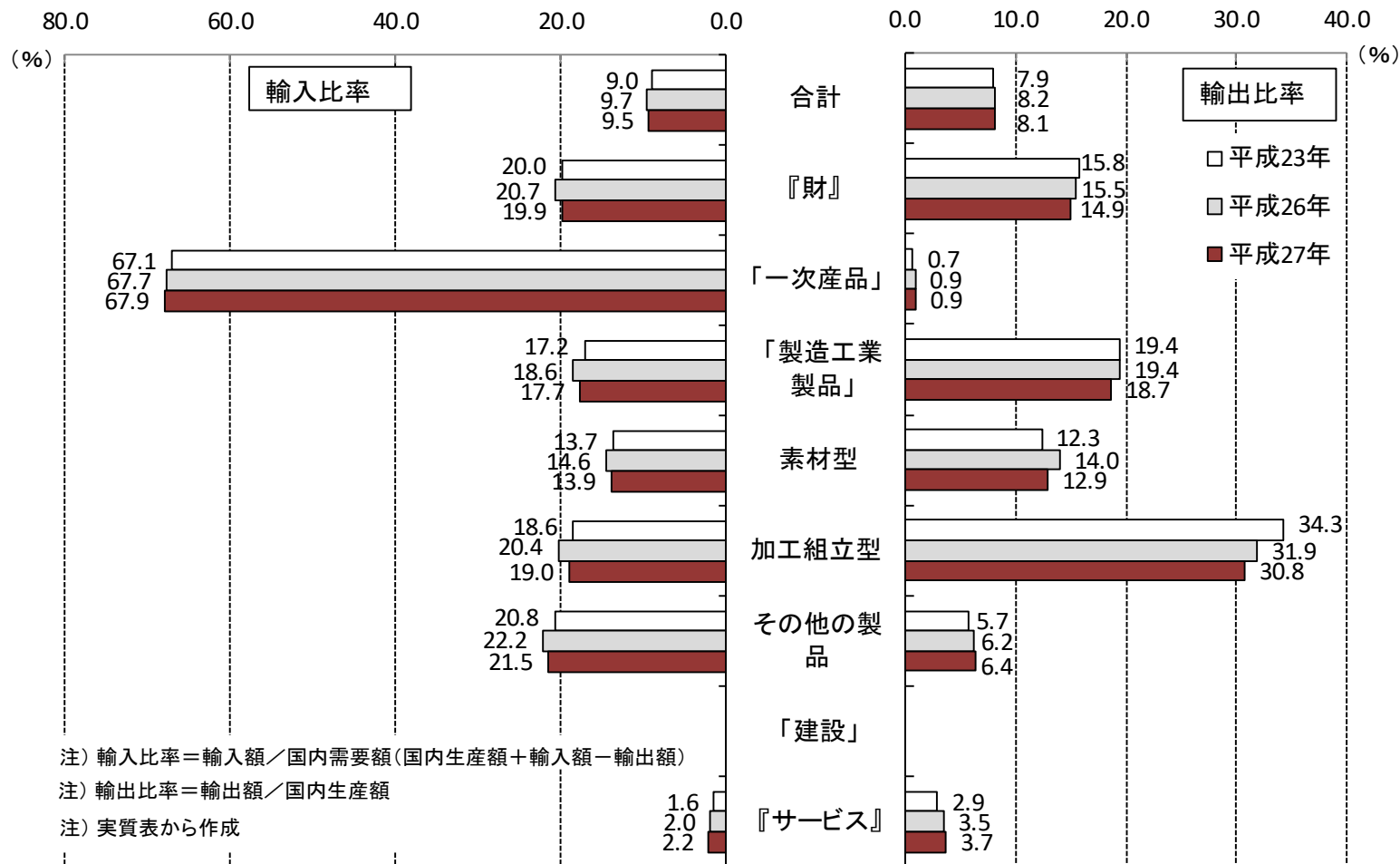
【中間投入率とは】

国内生産額に対する中間投入額(生産のために自産業及び他産業から、財やサービスの原材料を購入した額)の比率

我が国経済構造の概要【輸出入比率】

平成27年の輸出入比率(合計)は、輸入比率が9.5%、輸出比率が8.1%。
産業別にみると、加工組立型の輸出比率が低下傾向。一方、サービスの輸出比率は上昇傾向。

【平成23・26・27年における、財・サービス別輸出入比率】



我が国経済構造の概要【生産波及力①】

生産波及力(ある産業に対する単位需要が発生したときに、直接・間接に誘発される自部門及び他部門への生産に与える総効果)の大きい産業を名目表(時価評価、以下同様)で見ると、自動車関連(その他の自動車、乗用車、自動車部品・同附属品)が上位を占めていることがわかる。

		逆行列係数の列和(全体波及)				
		平成23年	平成26年	平成27年	23年差	26年差
順位	全産業平均	1.9816	1.9280	1.9221	▲ 0.0595	▲ 0.0059
1	その他の自動車	3.1025	2.9208	2.9177	▲ 0.1848	▲ 0.0031
2	乗用車	3.0016	2.7573	2.7755	▲ 0.2261	0.0182
3	鉄鋼	2.8012	2.7038	2.6322	▲ 0.1690	▲ 0.0716
4	自動車部品・同附属品	2.7535	2.5435	2.6096	▲ 0.1439	0.0662
5	パルプ・紙・紙加工品	2.2943	2.2915	2.2815	▲ 0.0128	▲ 0.0101
6	広告	2.3233	2.2642	2.2357	▲ 0.0876	▲ 0.0285
7	化学基礎製品	2.2597	2.2308	2.1998	▲ 0.0599	▲ 0.0309
8	民生用電気機器	2.2262	2.1786	2.1838	▲ 0.0424	0.0052
9	その他の輸送機械	2.3327	2.2238	2.1634	▲ 0.1693	▲ 0.0604
10	化学最終製品	2.1947	2.1719	2.1398	▲ 0.0549	▲ 0.0321

注1:「全産業平均」には、「その他(事務用品、分類不明)」を含んでいる。

注2:生産波及力①は、逆行列係数表の列和により求める。

注3:名目表から作成。

我が国経済構造の概要【生産波及力②】

他部門への生産波及力(ある産業に対する単位需要が発生したときに、直接・間接に誘発される他部門への生産に与える総効果)の大きい産業をみると、自動車関連(その他の自動車、乗用車)が生産波及力①と同様上位を占めている。またこの両部門は全産業平均を大きく上回っており、その影響力は非常に大きい。

		逆行列係数の自交点を除く列和(他部門波及)				
		平成23年	平成26年	平成27年	23年差	26年差
順位	全産業平均	0.8608	0.8123	0.8074	▲ 0.0535	▲ 0.0050
1	その他の自動車	2.0605	1.8697	1.8658	▲ 0.1947	▲ 0.0039
2	乗用車	2.0016	1.7573	1.7755	▲ 0.2261	0.0182
3	広告	1.3033	1.2429	1.2146	▲ 0.0886	▲ 0.0283
4	民生用電気機器	1.1661	1.1178	1.1343	▲ 0.0319	0.0165
5	通信機械	1.1494	1.0651	1.0972	▲ 0.0522	0.0321
6	化学最終製品	1.1161	1.0989	1.0668	▲ 0.0493	▲ 0.0321
7	金属製品	1.2071	1.0988	1.0473	▲ 0.1599	▲ 0.0515
8	電子計算機・同附属装置	1.1022	0.9866	1.0286	▲ 0.0736	0.0421
9	民生用電子機器	1.1266	0.9727	1.0132	▲ 0.1134	0.0405
10	産業用電気機器	1.0739	1.0231	0.9935	▲ 0.0804	▲ 0.0296

注1:「全産業平均」には、「その他(事務用品、分類不明)」を含んでいる。

注2:生産波及力②は、逆行列係数表の列和から同自部門分の値を差し引くことにより求める。

注3:名目表から作成。

我が国経済構造の概要【生産誘発額】

平成27年の生産誘発額(各年の国内生産額がどの最終需要によって誘発されたかを示したもの)は、消費による誘発額が最も大きく、対23年比、対26年比でも増加している。
対23年比で見ると、輸出と投資は大幅に伸びている。

【平成23・26・27年における生産誘発額の比較】

	生産誘発額(10億円、%)						
	平成23年	平成26年	平成27年	23年差	対23年伸び率	26年差	対26年伸び率
消費	596,805	601,903	611,942	15,138	2.5	10,039	1.7
家計外消費支出	22,479	22,620	22,560	81	0.4	▲ 60	▲ 0.3
民間消費支出	435,696	435,930	443,633	7,936	1.8	7,703	1.8
政府消費支出	138,630	143,354	145,750	7,120	5.1	2,396	1.7
投資	164,466	179,295	178,923	14,457	8.8	▲ 371	▲ 0.2
公的資本形成	36,837	43,077	42,794	5,957	16.2	▲ 283	▲ 0.7
民間資本形成	126,034	131,562	135,465	9,431	7.5	3,903	3.0
在庫純増	1,595	4,655	664	▲ 931	—	▲ 3,991	—
輸出	155,453	175,458	181,685	26,232	16.9	6,227	3.5
最終需要計	916,724	956,656	972,550	55,826	6.1	15,895	1.7

注:名目表から作成。

我が国経済構造の概要【生産誘発依存度】

平成27年の生産誘発依存度（生産誘発額の合計額に対する最終需要項目別生産誘発額の割合）は、消費による依存度が62.9%と最も高いが、対23年差で見ると低下している。
一方、輸出による依存度は上昇している。

【平成23・26・27年における生産誘発依存度の比較】

	生産誘発依存度(%)				
	平成23年	平成26年	平成27年	23年差	
				23年差	26年差
消費	65.1	62.9	62.9	▲ 2.2	0.0
家計外消費支出	2.5	2.4	2.3	▲ 0.1	▲ 0.0
民間消費支出	47.5	45.6	45.6	▲ 1.9	0.0
政府消費支出	15.1	15.0	15.0	▲ 0.1	0.0
投資	17.9	18.7	18.4	0.5	▲ 0.3
公的資本形成	4.0	4.5	4.4	0.4	▲ 0.1
民間資本形成	13.7	13.8	13.9	0.2	0.2
在庫純増	0.2	0.5	0.1	▲ 0.1	▲ 0.4
輸出	17.0	18.3	18.7	1.7	0.3
最終需要計	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0

注: 名目表から作成。

我が国経済構造の概要【生産誘発係数】

平成27年の生産誘発係数(最終需要が1単位増加または減少した時に生産をどれだけ誘発するかを示したもの)は、輸出が最も大きい。

【平成23・26・27年における生産誘発係数の比較】

	生産誘発係数				
	平成23年	平成26年	平成27年	23年差	26年差
消費	1.5657	1.5273	1.5297	▲ 0.0360	0.0024
家計外消費支出	1.6488	1.6211	1.6100	▲ 0.0388	▲ 0.0111
民間消費支出	1.5405	1.4992	1.5018	▲ 0.0387	0.0026
政府消費支出	1.6364	1.6041	1.6084	▲ 0.0280	0.0043
投資	1.7806	1.6876	1.6705	▲ 0.1101	▲ 0.0171
公的資本形成	1.8056	1.7297	1.7302	▲ 0.0755	0.0005
民間資本形成	1.7755	1.6636	1.6556	▲ 0.1199	▲ 0.0080
在庫純増	1.6282	2.0642	1.2033	▲ 0.4249	▲ 0.8610
輸出	2.1439	2.0633	2.0567	▲ 0.0872	▲ 0.0065
最終需要計	1.6788	1.6343	1.6332	▲ 0.0456	▲ 0.0010

注:名目表から作成。

我が国経済構造の概要【分析で用いた産業連関表】

以上の分析では、基本分類を54分類に統合した産業連関表(p.2～p.6 実質表、p.7～p.11 名目表)を使用。また分析結果を統合した分類区分は以下の通り。

1. 54部門分類における「財」、「サービス」の区分については次の通り(以下の表で共通)。

①<財>

一次産品: 農林水産業、鉱業、石炭・原油・天然ガス

素材型: 繊維工業製品、製材・木製品・家具、パルプ・紙・紙加工品、化学基礎製品、石油製品・石炭製品、プラスチック・ゴム、窯業・土石製品、鉄鋼、非鉄金属、金属製品

加工組立型: はん用機械、生産用機械、業務用機械、電子部品、産業用電気機器、民生用電気機器、その他の電気機械、民生用電子機器、通信機械、電子計算機・同付属装置、乗用車、その他の自動車、自動車部品・同付属品、その他の輸送機械

その他の製品: 飲食料品、衣服・その他の繊維既製品、化学最終製品、その他の製造工業製品

建設: 建築、建設補修、公共事業、その他の土木建設

②<サービス>

商業: 商業

金融・不動産: 金融・保険・不動産

運輸・情報通信: 運輸・郵便、通信・放送、情報サービス、その他の情報通信

公共サービス: 電力、ガス・熱供給、水道、廃棄物処理、公務、教育・研究、医療・福祉

その他のサービス: その他の非営利団体サービス、物品賃貸サービス、広告、その他の対事業所サービス、対個人サービス、その他

2. 「平成23年」、「平成26年」および「平成27年」はそれぞれ「平成23年産業連関表」、「平成26年延長産業連関表」および「平成27年延長産業連関表」を指す(以上の表で共通)。